



旧城下町をイメージさせ、修景にも配慮した舗装が行われている



祭りの由来などを紹介する案内板



街路灯も街並みに調和するように和風様式のものを設置した

DATA・BOARD 21

- ① 京都府亀岡市本町
- ② 延長：1,718m，幅員：4～6m
- ③ JR山陰本線亀岡駅から徒歩7分，京都縦貫自動車道
亀岡1Cから車で約5分
- ④ 湯の花温泉，保津川ほか
- ⑤ 亀岡まつり



21 祭にであう道づくり



亀岡市の本町地区は、旧城下町の名残りを留める寺社や伝統的街並みなどが存在する地域である。毎年、十月二十四、二十五日には、ミニ祇園祭りとも呼ばれる亀岡祭りが行われる場所でもあり、「祭にであう道づくり」は、こうした歴史的文化遺産をネットワークする道筋として整備が進められた。

整備にあたっては、旧城下町をイメージさせ、周囲の景観に馴染み、歩行者にやさしい道とするために、御影石や脱色アスファルトなどを使用した舗装を行った。伝統的な家並みの前に見られる側溝は、石積みのもものが多く残っており、これらを活用した側溝整備を行ったほか、夜間の景観にも配慮した和風の照明灯を設置した。

沿道には祭りで使われる山鉦の鉦蔵があり、人々の関心を寄せるために、鉦蔵の前には常夜灯や祭りの由来を紹介した案内板を設置している。また、地元の自治会が管理している児童公園や空地などを利用して、落ち着いた雰囲気のある休憩施設が設けられている。

祭りの時には、大勢の人々や山鉦の巡行で賑わう道だが、普段は旧城下町の街並みと調和した情緒ある道として、地域の人や訪れた人に安らぎを与えてくれる。